

# 二中コミュニティ・スクールだより 1 令和5年7月20日

## 地域の力を学校教育に!

令和5年度 二中 学校運営協議会委員

### 第1回学校運営協議会開催 5月19日

#### 今年度の会長・副会長が決まりました。

二中がコミュニティ・スクールとなってから今年度で2年目となりました。コミュニティ・スクールとは、地域の教育力を学校教育に活かすことを目的として、学校運営協議会を設置している学校のことです。学校運営協議会委員は、二中の教育に関わりのある地域の人達の中から学校長の推薦をもとに教育委員会により任命されます。

5月19日に開かれた第1回学校運営協議会では、15名の委員の中から、会長として谷津紳一郎さん、副会長として小山定男さんが選ばれました。

授業参観では、生徒が各自タブレットパソコンに自分の意見を打ち込み、モニター画面に映し出された他の人の意見を参考にしてもう一度考える授業や、タブレットパソコンを使って自分で書いた英文の画面を見ながら発表している授業などを参観していただきました。本校は2年間、県と市から「ICT活用推進プロジェクト実践推進校」の指定を受けていましたので、その成果を見ていただくことができました。

会議では、校長から学校経営方針の説明、教頭から行事予定や学校評価についての説明があり、委員全員により承認されました。

	氏名	所属等
1		館林女子高等学校長
2		保護司
3	会長	郷谷地区,代表区長
4		元小学校長
5		自営業
6	副会長	行政経験者
7		城沼公民館長
8		第二小学校長
9		第三小学校長
10		第四小学校長
11		青少年育成推進員
12		主任児童委員
13		ライオンズクラブ事務局
14		第二中学校 PTA 顧問
15		第二中学校長

#### 学校職員

	教頭
	教務主任
	コミュニティ・スクール担当
	コミュニティ・スクールディレクター



「自己有用感を育てる活動を進めます」  
校長が学校経営方針を説明しました

## あきらめずに最後まで取り組む ねばり強い生徒 —共に目指す二中の生徒像—

会議の後半では、「学校と地域で共に目指す生徒像」をテーマに、グループに分かれて熟議（より深い話し合い）を行いました。

熟議では「故郷を愛する生徒、ボランティア活動に積極的に参加する生徒、世界に目を向けてルールを守れる生徒、人と違うことを恐れない生徒、集団生活を身につけた生徒、社会とのコミュニケーションが取れる生徒、人の意見を聞ける生徒」など、多くの意見が出ました。

## 行事や活動への 積極的な参加が大切！ —自己肯定感を育てるために—

どのようにして目指す生徒を育てるかについても熟議を行い、次のような意見が出されました。

- 1, 地域で積極的に生徒に声をかけて、あいさつをすることが大切である。
- 2, 部活動に積極的に取り組むことで、一生懸命やり抜く生徒が育つ。
- 3, 燃えるような学校行事をやっていくことで、生徒が主体的に取り組み、のびのびと自分の良さを伸ばし、積極性が身につく。
- 4, 物づくりを初め、いろいろな活動に積極的に参加することが大切である。体験活動の中で学んでいくことが必要である。
- 5, 地域とのかかわりの中で褒められたり、地域が支援する交流活動の中で存在感を認められたりすることで自己肯定感が高まる。



グループごとの話し合いの結果を発表しあって、考えを共有しました



区長さんや地球環境課協力のもと、二中生全員で加法師川清掃を行いました  
(5月15日)



郷谷公民館高齢者教室の方に来校していただき、見えない心のバリアー（壁）について、話し合いました(6月27日)